

仙台市地震ハザードマップ Earthquake Hazard Map

スラブ内地震 による液状化危険度マップ
Liquefaction Hazard Map for Inslab Earthquake

太白区版 Taihaku Ward

液状化危険度 (PL値: 液状化指数)
Liquefaction Hazard Level (PL value: Liquefaction Potential Index)

	極めて高い Extremely high	(20<PL)
	高い High	(10<PL≤20)
	やや高い Moderately high	(5<PL≤10)
	低い Low	(0<PL≤5)
	かなり低い Quite low	(PL=0)

《 液状化危険度マップ 》

このマップは、宮城県第五次地震被害想定調査報告書(令和5年11月)の算定手法に基づいて、市内全体を250m四方に区分した区域(メッシュ)に分割し、地震の規模や震源の距離等から予測される「地盤の液状化の危険度」を表示したものです。

なお、メッシュの境目が地盤の液状化の危険度の境界を示すわけではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生によって、実際の液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

《 スラブ内地震：想定した地震規模：マグニチュード7.5 》

この地震は、陸側のプレートの下へ潜り込んだ海洋プレートの内部(スラブ内)に力が加わって発生する地震であり、東日本大震災以降、高い頻度で発生しています。2011年(平成23年)4月に宮城県沖で発生した地震や、2022年(令和4年)3月の福島県沖の地震等が近年の発生ケースです。

